

学校教員統計調査

(平成25年10月1日現在)

学校教員統計調査

I 調査の概要

1 調査の目的

学校の教員構成並びに教員の個人属性、職務態様及び異動状況等を調査し、教員に関する諸施策の検討・立案のための基礎資料等を整備することを目的としています。

2 調査の構成及び調査時期

- (1) 学校調査 平成25年10月1日現在
- (2) 教員個人調査 平成25年10月1日現在
- (3) 教員異動調査 平成24年度間(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

3 調査の範囲

国・公・私立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、幼稚園、特別支援学校、大学及び高等専門学校、専修学校、各種学校(国立の学校、公立及び私立の大学、高等専門学校については、文部科学省が直接調査する。)

4 調査の対象

- (1) 学校調査
 - ア 公立の小学校、中学校、高等学校(全日制・定時制課程)及び幼稚園
 - イ 私立の高等学校(全日制課程)及び幼稚園
- (2) 教員個人調査
 - ア 公立の小学校、中学校、高等学校(全日制・定時制課程)及び幼稚園並びに私立の高等学校(全日制課程)、幼稚園、専修学校及び各種学校のうち抽出された学校のすべての本務教員(ただし、専修学校及び各種学校については、兼務教員を含む。)
 - イ 公立の高等学校(通信制課程)、特別支援学校、専修学校及び各種学校並びに私立の小学校、中学校、高等学校(定時制・通信制課程)及び特別支援学校のすべての本務教員(ただし、専修学校及び各種学校については、兼務教員を含む。)
- (3) 教員異動調査
専修学校及び各種学校を除く各学校種のすべての本務教員

5 調査事項

- (1) 学校調査 性別、年齢別、職名別の本務教員数
- (2) 教員個人調査 性別、年齢、職名、学歴、教員免許状の種類、給料月額等
- (3) 教員異動調査 性別、年齢、職名及び採用・転入・離職の状況等

6 用語の説明

- (1) 本務教員 平成25年10月1日現在、常勤の教員で校長(園長)、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭及び実習助手として発令されている者。
- (2) 採用教員 平成24年度間に当該学校の本務教員として、高等学校以下の学校の本務教員以外の職業等から採用された者。
- (3) 転入教員 平成24年度間に高等学校以下の学校の本務教員から当該学校の本務教員として異動した者。
- (4) 離職教員 平成24年度間に当該学校の本務教員でなくなった者並びに高等専門学校以上の学校へ転出した者。

Ⅱ 調査結果の概要

－本務教員の男女別・職名別・年齢別構成－

学校教員統計調査のうち、学校調査については都道府県教育委員会集計表から、教員個人調査及び教員異動調査については学校が作成した各調査票から文部科学省が集計を行い、結果については学校教員統計調査報告書として公表されます。

この報告書は、公立の小学校、中学校、高等学校(全日制・定時制課程)、幼稚園並びに私立の高等学校(全日制課程)、幼稚園の男女別・職名別・年齢別の本務教員について分析し、取りまとめたものです。

1 本務教員

平成25年10月1日現在及び平成16年度以降の本務教員の推移は、第1表のとおりです。

第1表 本務教員の推移

区分	16年度 (A)	19年度 (B)	22年度 (C)	25年度 (D)	22年度との比較		16年度との比較		
					増減数 (D-C) E	増減率 (E/C)	増減数 (D-A) F	増減率 (F/A)	
					人	%	人	%	
公立	小学校	19,578	19,455	19,457	18,488	-969	-5.0	-1,090	-5.6
	中学校	12,363	12,166	12,040	11,589	-451	-3.7	-774	-6.3
	高等学校(全日制)	10,049	9,616	9,260	8,621	-639	-6.9	-1,428	-14.2
	高等学校(定時制)	789	786	751	687	-64	-8.5	-102	-12.9
	幼稚園	545	505	463	416	-47	-10.2	-129	-23.7
私立	高等学校(全日制)	2,084	1,978	1,889	1,953	64	3.4	-131	-6.3
	幼稚園	4,196	4,307	4,403	4,371	-32	-0.7	175	4.2

* 高等学校の教員数には、実習助手を含む。

平成16年度の教員数と比較すると、公立学校においては、小学校1,090人、中学校774人、高等学校全日制人、高等学校定時制人、幼稚園129人の減少となっています。

私立学校においては、高等学校全日制では人の減少、幼稚園では175人の増加となっています。

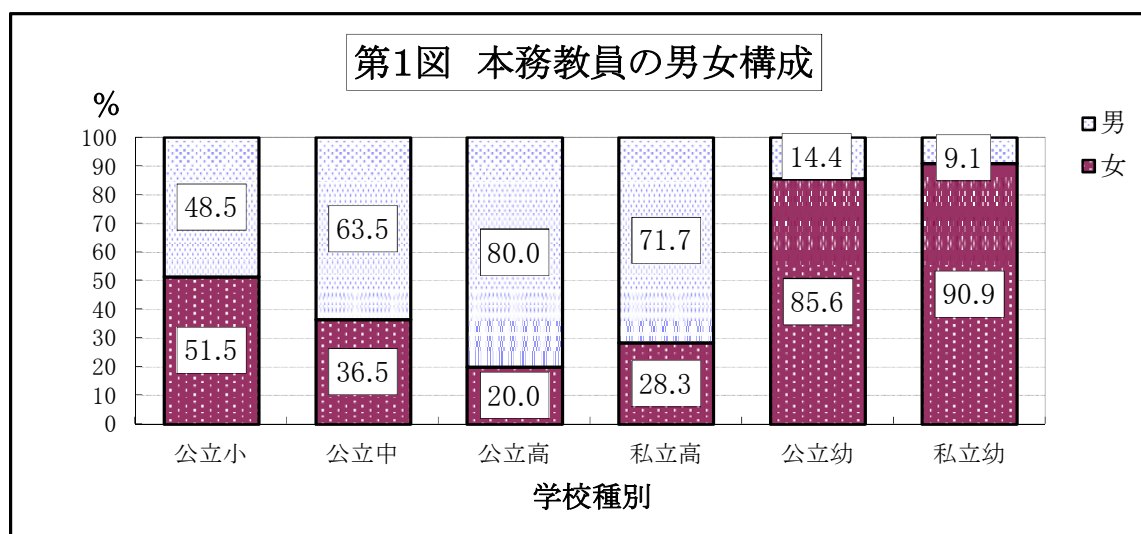
また、平成16年度との教員数の増減率をみると、公立学校においては、幼稚園で23.7%と最も大きく、次いで高等学校全日制で14.2%、中学校6.3%の減少となっています。

私立学校においては、高等学校全日制では6.3%の減少、幼稚園では4.2%の増加となっています。

2 本務教員の構成

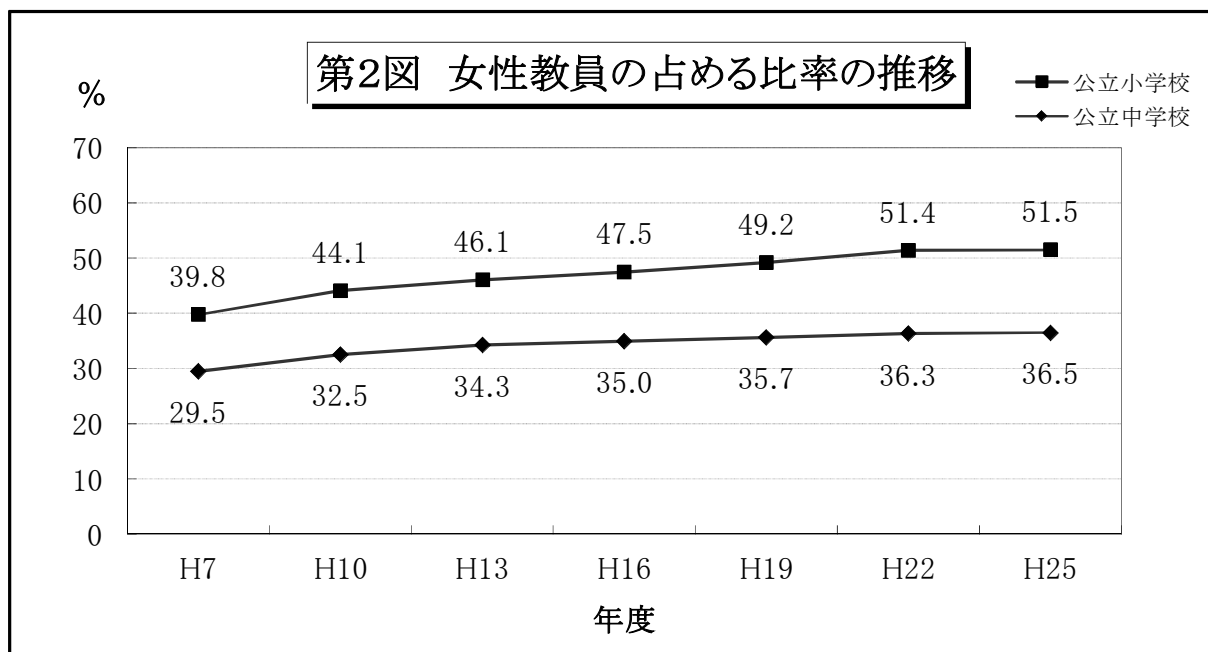
(1) 男女別構成

本務教員の男女別構成は、第1図のとおりです。これによると、幼稚園では女性教員の占める割合が圧倒的に大きく、小学校でも、その割合が半数を超えています。



公立小学校及び中学校の本務教員に占める女性教員の比率を年度別に示したのが第2図です。本道の女性教員の占める比率について平成22年度と比較すると小学校0.1%、中学校0.2%の増加となっています。

また、平成7年度以降の推移をみると、小学校11.7%、中学校7.0%の伸びを示しています。



(2) 年齢別構成

平成16年度と平成25年度の本務教員の年齢別構成を5歳ごとの年齢層でまとめたのが第2表です。

公立小学校及び中学校の教員についてみると、平成16年度は30～34歳の教員の占める割合が最も大きかったのに対し、平成22年度では35～39歳の占める割合が小学校 %、中学校 %と最も大きくなっています。

また、45歳以上の中高年齢層は小学校 %、中学校 %となっていますが、平成16年度と比較すると小学校 %、中学校 %増加しております。

なお、本務教員の年齢別、男女別構成比を示したのが第3図です。

第2表 本務教員の年齢別構成(平成16年度と平成25年度の比較)

(単位%)

種別 年齢	公立								私立			
	小学校		中学校		高等学校		幼稚園		高等学校		幼稚園	
	16年度	25年度	16年度	25年度	16年度	25年度	16年度	25年度	16年度	25年度	16年度	25年度
24歳以下	2.9	2.9	3.4	2.9	2.1	1.6	8.4	6.5	3.5	3.9	37.8	28.7
25～29歳	10.6	8.5	12.2	8.4	10.4	5.4	16.3	8.2	15.0	9.5	23.4	23.2
30～34歳	18.3	10.9	19.8	10.6	15.6	7.7	14.0	7.0	16.1	13.9	8.9	9.4
35～39歳	15.5	13.9	17.0	14.1	16.8	13.2	12.3	15.6	10.6	16.7	4.9	8.1
40～44歳	13.6	18.3	15.6	18.8	17.4	17.5	16.3	14.9	9.1	14.3	5.6	7.5
45～49歳	15.0	15.5	13.0	16.1	14.0	19.0	10.5	12.7	11.0	10.7	5.1	6.7
50～54歳	12.4	14.4	10.3	15.4	11.9	18.9	7.5	18.0	10.9	10.6	3.6	5.4
55～59歳	10.8	14.2	7.6	12.2	10.1	14.3	5.5	7.9	14.1	10.9	2.9	3.6
60歳以上	0.9	1.4	1.1	1.5	1.7	2.4	9.2	9.2	9.7	9.5	7.8	7.4
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

*網掛け部分は、各学校種で年度別に教員の占める割合が一番大きい年齢層である。

第3図 本務教員の年齢別・男女別構成比

